BUSINESS REPORT

第79期
ビジネスレポート

平成29年4月1日から平成30年3月31日まで

株式会社 三晃空調

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
ここに、第79期（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）の事業報告をお届けいたします。
今後とも株主の皆様から厚いご指導、ご支援を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

事業の経過及び成果

当期におけるわが国経済は、政府による経済・金融政策を背景に、概ね企業の収益や雇用・所得環境の改善に伴って、設備投資や個人消費が底堅く推移するなど、緩やかな回復基調が続いています。

当建設業界では、2020年東京オリンピック・パラリンピックに関連する旺盛な建設需要をはじめとして、公共投資や民間投資が堅調に推移し、建設コストも安定的に推移したことから、事業環境は好調に推移しています。

こうした状況の下、品質の確保を最優先し、顧客満足度の向上に努めるとともに、収益性重視の選別受注ならびに原価低減を図り、将来への布石と安定した経営基盤を構築すべく、全社一丸となって取り組んでまいりました。

この結果、当期の業績につきましては、以下のとおりとなりました。

受注工事高は前期比2.1%増の360億22百万円、完成工事高は同12.9%増の339億85百万円となりました。また、次期繰越工事高は前期比6.6%増の324億66百万円となりました。利益面につきましては経常利益は前期比50.0%増の16億78百万円となり、当期純利益は25.9%増の11億51百万円となりました。

区　　分	前期繰越工事高	当期受注工事高	当期完成工事高	次期繰越工事高
空調衛生設備工事	30,429 百万円	36,022 百万円	33,985 百万円	32,466 百万円

会社が対処すべき課題

当社を取巻く事業環境は、2020年東京オリンピック・パラリンピック関連の建設需要が本格化するとともに、大都市圏の大規模再開発などに支えられ、当面大幅な落ち込みはないものと予想されます。また企業収益の向上によって民間設備投資も回復を続けるものと思われます。

一方では、建設労働者の慢性的な不足と高齢化、若年層の建設業界離れが深刻さを増すものと懸念されます。

このような当社を取巻く事業環境の中で、当社は、重要な永遠のテーマとして「お客様が注文したくなる会社」を掲げ、品質の確保を最優先し、誠実なお客様本位の対応を行い、受注から企画設計、施工、メンテナンスに至る過程で、お客様満足度の向上に取り組むことにより、安定した受注高の確保と利益の確保を図ってまいります。

また、働き方改革の取り組みとして有給休暇取得奨励金制度の継続と、ITを活用した業務の効率化を図り、社員一人一人が働きやすいと実感できる職場環境を継続して構築し、より魅力的な会社となるよう努めてまいります。

加えて、企業としての社会的責任を自覚し、全社一丸となって地域社会の発展への貢献に積極的に取り組んでまいります。

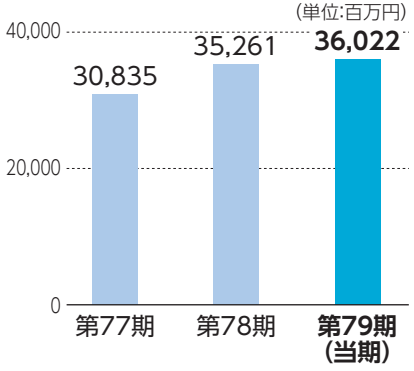
株主の皆様方には今後ともご支援ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

平成30年6月

財務ハイライト

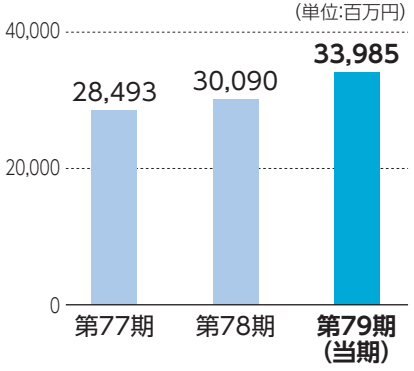
受注工事高

36,022百万円



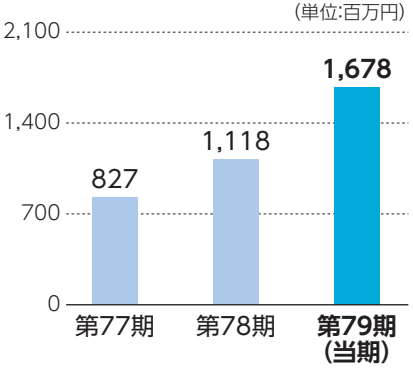
完成工事高

33,985百万円



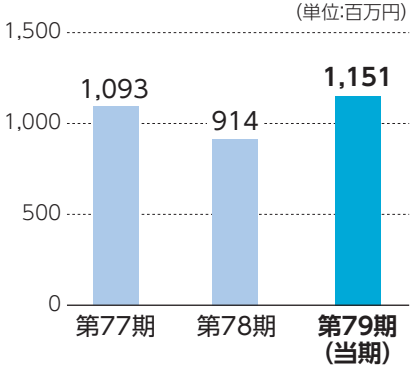
経常利益

1,678百万円



当期純利益

1,151百万円

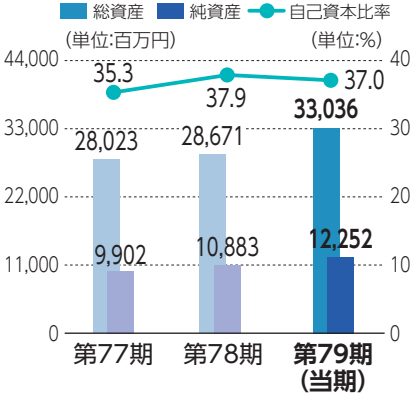


総資産・純資産・自己資本比率

総資産 **33,036百万円**

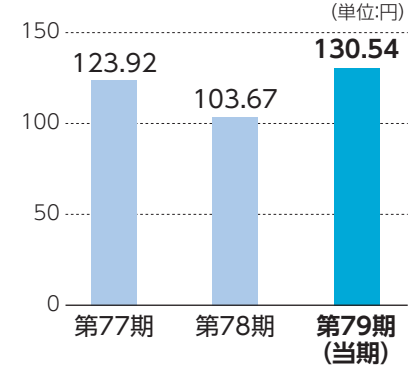
純資産 **12,252百万円**

自己資本比率 **37.0%**



1株当たり当期純利益

130.54円



Topics 1 特殊排水継手「ステップ継手」の特許取得

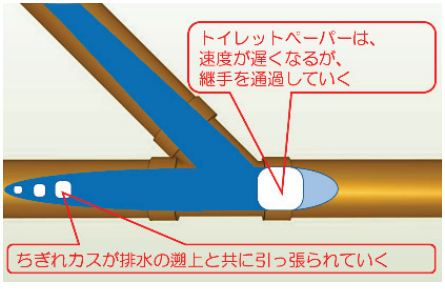
当社は、超節水型大便器からの少ない水量でも、効率よく汚物を搬送することができる、特殊排水継手「ステップ継手」（以下、ステップ継手）を下記のとおり開発し、特許を取得いたしました。近年、水資源に対する意識の高まりから、非住宅建築物（事務所ビル、病院、老健施設等）への超節水型大便器の採用が増加しております。排水管の合流部分にステップ継手を採用することで、配管長が長く合流個所も多い一般ビルでも、節水化による詰まりのトラブルを減少させることが期待できます。今後、さらなるデータ収集、実証実験を進め、2019年までに製品化を予定しております。

【背景】

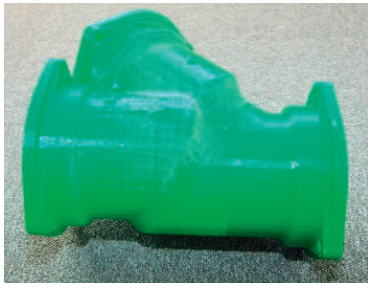
排水管合流部の上流側に段差を設けて実施した排水実験では、一般的な配管法と比較し、汚物搬送能力（搬送距離）が向上するデータを得ることができました。そこで排水管合流部と段差を一体化することで施工性を高めたステップ継手を開発するに至りました。

【ステップ継手の特徴】

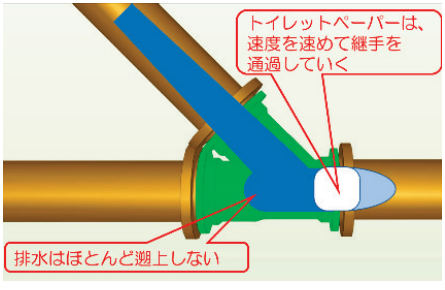
排水Y字合流継手の流入部分にステップ（段差）を設置することで、合流部分に発生するバックフロー（逆流）を防止し、汚物搬送のための水量を確保することを特徴としております。



一般的な合流部



継手3D試作品



ステップ継手の合流部

【特許情報】

発明の名称：排水機構
特許番号：第6273060号
出願日：平成29年6月30日
登録日：平成30年1月12日

特許証
(CERTIFICATE OF PATENT)

特許第６２７３０６０号
(PATENT NUMBER)

発明の名称 (TITLE OF THE INVENTION)　排水機構

特許権者 (PATENTEE)　大阪府大阪市北区西天満３丁目１３番２０号
株式会社三晃空調

発明者 (INVENTOR)　大久保　昭弘
増田　裕明

出願番号 (APPLICATION NUMBER)　特願２０１７－１２８９８７
出願日 (FILING DATE)　平成２９年　６月３０日(June 30, 2017)
登録日 (REGISTRATION DATE)　平成３０年　１月１２日(January 12, 2018)

この発明は、特許するものと確定し、特許原簿に登録されたことを証する。
(THIS IS TO CERTIFY THAT THE PATENT IS REGISTERED ON THE REGISTER OF THE JAPAN PATENT OFFICE.)

平成３０年　１月１２日(January 12, 2018)

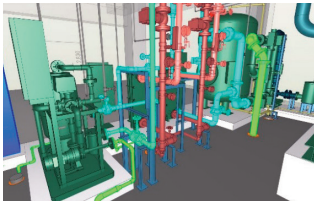
特許庁長官
(COMMISSIONER, JAPAN PATENT OFFICE)
宗像直子

Topics 2 当社のBIMへの取り組み

当社は、建設の生産性向上に効果のあるツールとして期待されているBIM（Building Information Modeling）への対応として、2016年より三次元設備BIMソフト「Rebro」の導入を推進しております。そして、Rebroを中心とした情報連携を実現し、業務効率の向上と顧客満足度アップを進めてまいります。また、情報連携を実現させるため、当社ではツールの導入・活用推進に取り組んでおります。

Ⅰ. Rebro強化合宿の実施

当社は、Rebroトップランナー（RebroでBIM施工図を纏め上げる能力を持つ社員）を育成するために、6週間の集中研修（合宿地:沖縄県那覇市）を実施しております。2週間の基本操作・作図トレーニング、4週間の実務研修を通じて、BIMのメリットを生かせる技術者を育成してまいります。



Rebro研修CG

三次元レーザースキャナ「BLK360」

※会社名、製品名などは、各社または、各団体の商標、もしくは登録商標です。

Ⅱ. 三次元レーザースキャナ「BLK360」導入

当社は、ライカジオシステムズ製「BLK360」を導入いたしました。「BLK360」は、レーザーを用いて、空間内の物体表面の位置（三次元座標）を点群（点の集まり）としてデータ化します。空間情報を短時間で正確に把握できる為、改修計画の立案をスムーズに行う事ができます。

Ⅲ. 点群処理ソフト「InfiPoints」導入

「BLK360」で取得した点群データは、「InfiPoints」により、Rebroデータに変換することが可能です。これにより既存の設備図面の作成を省力化することができます。また、Rebroで作成した機器・設備のデータと合成することで、干渉チェックや搬入シミュレーションが可能となります。

Ⅳ. 積算ソフト「みつもりくんPro-SS」の運用開始

拾い情報のさらなる活用とBIM連携のために、積算ソフトのバージョンアップを行いました。 Rebroで作成した設備データは、「みつもりくんPro-SS」との連携により、自動的に部材数量の拾い、拾い図面の作成、材料単価入力が可能となります。これら自動積算の実現に向けて、積算ソフトの活用推進、Rebroとの連携ノウハウの蓄積を進めてまいります。

第79期（2017年度）主な竣工物件

藤久ビル　東5号館（東京都豊島区）

宇部興産中央病院（山口県宇部市）

立命館大学OICインターナショナルハウス（大阪府茨木市）

財務諸表

貸借対照表（平成30年3月31日現在）

（単位:千円）

科　目	金　額	科　目	金　額
資産の部		**負債の部**	
流動資産	25,356,611	流動負債	18,793,732
現金預金	8,314,548	支払手形	3,754,091
受取手形	832,398	工事未払金	10,643,328
完成工事未収入金	14,757,119	一年内償還社債	440,000
未成工事支出金	67,815	短期借入金	1,065,000
立替金	37,762	未払費用	160,798
短期貸付金	745,702	未払法人税等	550,172
未検収消費税等	278,115	未成工事受入金	422,322
繰延税金資産	216,003	預り金	399,849
その他	113,026	賞与引当金	450,000
貸倒引当金	△ 5,879	役員賞与引当金	25,000
固定資産	7,679,739	完成工事補償引当金	19,868
有形固定資産	3,027,095	工事損失引当金	14,700
建物・構築物	819,622	その他	848,601
機械・運搬具	10,103	固定負債	1,990,391
工具器具・備品	30,304	社債	595,000
土地	2,147,274	退職給付引当金	661,249
リース資産	19,789	役員退職慰労引当金	57,839
無形固定資産	80,253	預り保証金	103,562
電話加入権	22,062	長期リース債務	13,731
ソフトウェア	58,190	長期繰延税金負債	559,008
投資その他の資産	4,572,390	**負債合計**	**20,784,123**
投資有価証券	3,072,386	**純資産の部**	
関係会社株式	188,000	株主資本	11,102,256
出資金	5,225	資本金	1,236,176
長期貸付金	345,639	資本剰余金	824,328
長期前払費用	3,399	資本準備金	824,328
長期保証金	172,346	利益剰余金	9,679,652
長期保険積立金	728,532	利益準備金	309,044
会員権	144,210	その他利益剰余金	9,370,608
その他	10,073	固定資産圧縮積立金	153,276
貸倒引当金	△ 97,422	別途積立金	6,634,000
		繰越利益剰余金	2,583,332
		自己株式	△ 637,901
		評価・換算差額等	1,149,971
		その他有価証券評価差額金	1,149,971
		純資産合計	**12,252,227**
資産合計	**33,036,351**	**負債及び純資産合計**	**33,036,351**

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

（単位:千円）

科　目	金　額
完成工事高	33,985,542
完成工事原価	30,305,139
完成工事総利益	3,680,403
販売費及び一般管理費	2,202,192
営業利益	**1,478,211**
営業外収益	345,786
受取利息及び配当金	95,347
不動産賃貸収益	214,343
その他	36,095
営業外費用	145,140
支払利息	13,215
不動産賃貸費用	102,174
その他	29,750
経常利益	**1,678,857**
特別利益	**197,775**
固定資産売却益	185,799
投資有価証券売却益	11,975
特別損失	**181,438**
固定資産売却損	6,853
違約金損失	170,014
子会社整理損	4,570
税引前当期純利益	**1,695,194**
法人税、住民税及び事業税	527,244
法人税等調整額	16,066
当期純利益	**1,151,884**

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書（平成29年4月1日から平成30年3月31日まで）

（単位:千円）

	株主資本									評価・換算差額等	純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金					自己株式	株主資本合計	その他有価証券評価差額金	
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金合計				
				固定資産圧縮積立金	別途積立金	繰越利益剰余金					
当期首残高	1,236,176	824,328	309,044	156,946	6,634,000	1,533,670	8,633,660	△637,443	10,056,721	826,611	10,883,332
当期変動額											
固定資産圧縮積立金				△3,669		3,669	—		—		—
剰余金の配当						△105,892	△105,892		△105,892		△105,892
当期純利益						1,151,884	1,151,884		1,151,884		1,151,884
自己株式の取得								△457	△457		△457
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）										323,360	323,360
当期変動額合計	—	—	—	△3,669	—	1,049,661	1,045,992	△457	1,045,534	323,360	1,368,895
当期末残高	1,236,176	824,328	309,044	153,276	6,634,000	2,583,332	9,679,652	△637,901	11,102,256	1,149,971	12,252,227

（注）記載金額は千円未満を切り捨てて表示しております。

株式に関する事項

①発行可能株式総数　35,600,000 株
②発行済株式の総数　8,823,371 株
（自己株式 1,416,629 株を除く）
③株主数　67 名
④大株主（上位 10 名）

株主名	持株数	持株比率
	千株	%
従業員持株会	1,219	13.8
株式会社三晃エージェンシー	1,128	12.7
一般社団法人三晃厚生会	697	7.8
齋藤昌宏	627	7.1
齋藤　穎	543	6.1
株式会社三井住友銀行	440	4.9
三井住友信託銀行株式会社	440	4.9
株式会社ヤマト	440	4.9
齋藤　進	364	4.1
齋藤　明	353	4.0

（注）1. 持株比率は、自己株式（1,416,629株）を控除して計算しております。
2. 齋藤進氏は、平成29年12月9日に逝去されましたが、名義書換未了のため、株主名簿上の名義で記載しております。

会社の概況（平成30年3月31日現在）

商　号	株式会社 三晃空調 SANKO AIR CONDITIONING CO., LTD.
創　立	昭和21年1月1日
設　立	昭和22年2月8日
資本金	12億3,617万6千円
建設業許可	国土交通大臣許可（特－27）第4662号 管工事業、機械器具設置工事業、 消防施設工事業、建築工事業
従業員数	440名

※従業員数には、役員、顧問、嘱託、臨時従業員および社外からの出向者を含んでおりません。

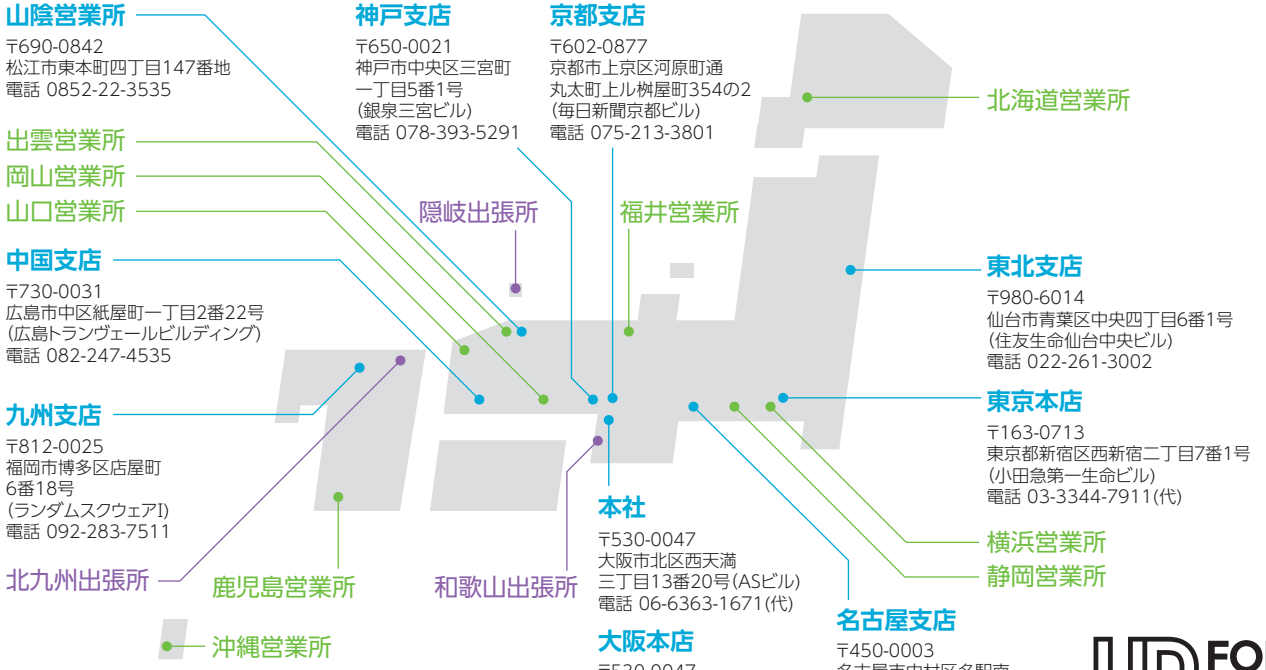
ホームページアドレス
http://www.sanko-air.co.jp

役　員（平成30年6月28日現在）

〔取締役および監査役〕

取締役会長	齋藤　明
代表取締役社長	齋藤昌宏
常務取締役	文田秀夫
常務取締役	山田隆三
取締役	久保田重憲
常勤監査役	常井孝眞
監査役	木村泰輔

事業所一覧（平成30年6月28日現在）



山陰営業所
〒690-0842
松江市東本町四丁目147番地
電話 0852-22-3535

出雲営業所

岡山営業所

山口営業所

中国支店
〒730-0031
広島市中区紙屋町一丁目2番22号
(広島トランヴェールビルディング)
電話 082-247-4535

九州支店
〒812-0025
福岡市博多区店屋町
6番18号
(ランダムスクウェアI)
電話 092-283-7511

北九州出張所

鹿児島営業所

沖縄営業所

神戸支店
〒650-0021
神戸市中央区三宮町
一丁目5番1号
(銀泉三宮ビル)
電話 078-393-5291

京都支店
〒602-0877
京都市上京区河原町通
丸太町上ル桝屋町354の2
(毎日新聞京都ビル)
電話 075-213-3801

隠岐出張所

福井営業所

本社
〒530-0047
大阪市北区西天満
三丁目13番20号(ASビル)
電話 06-6363-1671(代)

大阪本店
〒530-0047
大阪市北区西天満
三丁目13番20号(ASビル)
電話 06-6363-1371(代)

和歌山出張所

北海道営業所

東北支店
〒980-6014
仙台市青葉区中央四丁目6番1号
(住友生命仙台中央ビル)
電話 022-261-3002

東京本店
〒163-0713
東京都新宿区西新宿二丁目7番1号
(小田急第一生命ビル)
電話 03-3344-7911(代)

横浜営業所

静岡営業所

名古屋支店
〒450-0003
名古屋市中村区名駅南
二丁目14番19号
(住友生命名古屋ビル)
電話 052-581-8571

UD FONT by MORISAWA

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォントを採用しています。